

# 会 議 録

## 1 会議名

第12回名立区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

### (1) 協議事項（公開）

自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」について

### (2) 報告事項（公開）

平成30年度上越市地域活動支援事業名立区版募集要項について

名立の子どもを守り育む会の事業評価について

### (3) その他の事項（公開）

地域活動支援事業名立区事例発表について

平成30年度第1回地域協議会の開催予定

## 3 開催日時

平成30年3月20日（火）午後6時30分から午後8時まで

## 4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

## 5 傍聴人の数

1名

## 6 非公開の理由

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：安藤安年、奥泉稔、木村和子、草間照光、佐藤道子、高宮秀博、塚田正、二宮香里、原田秀樹、三浦元二
- ・ 事 務 局：牛木所長、三浦次長（総務・地域振興グループ長兼務）、松永市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、竹内班長、佐藤主任

## 8 発言の内容

### 【竹内班長】

- ・ 会議の開会を宣言。
- ・ 上越市の地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告。

【塚田会長】

- ・挨拶
- ・所長に挨拶を求める。

【牛木所長】

- ・挨拶

【塚田会長】

- ・事務局に資料の説明と会議録の確認者の発表を求める。

【竹内班長】

- ・資料の説明
- ・会議録の確認：奥泉委員、木村委員

【塚田会長】

- ・協議事項の前に平成29年度地域活動支援事業の変更申請について、事務局に説明を求める。

【竹内班長】

- ・平成29年度地域活動支援事業の「ふるさと不動地区・水源の森活動計画事業」及び「名五美（なごみ）ちゃんて名立区を元気に！事業 ～みんなが乗っているバスでPR～」の事業計画変更について、別紙資料に沿って説明。

【塚田会長】

- ・事務局の説明に対し、意見・質問を求める。

【奥泉副会長】

- ・「ふるさと不動地区・水源の森活動計画事業」について、当初予定から研究者等謝金が減少して、研究者等交通費や宿泊費が増えているのはなぜか。また、講師・参加者の飲食代は補助対象として認められないのではないのか。

【竹内班長】

- ・これら項目の増減については、新潟大学の教授を予定していたが、東京農工大学や東京農業大学の講師に変更になったことによるものと聞いている。
- ・講師及び参加者の飲食代は補助対象外経費として、申請時から自己負担としている。

【二宮委員】

- ・講師の報酬が当初は20,000円であったが、変更後は30,000円となっているのはなぜか。単価は最高でも医師や弁護士の20,000円であり、大学教授でも15,000円なのではないか。

【竹内班長】

- ・6月の地域協議会でも説明したが、講師の報酬については、市の基準では講義等の所要時間を半日として定めた金額であり、この事業では講師を1日拘束してしまうとのことである。大学教授が講師の場合、報酬は30,000円となると考えられるが、そうすると大学講師の場合は27,400円になるが、報酬はそれより少ない20,000円でよいのか。実績報告があり次第確認する。

【塚田会長】

- ・他に意見・質問を求めるもなし。
- ・2-(1)自主的審議事項「ろばた館の存続に向けて」について、勉強会からの経緯について説明する。また、提案者の三浦委員に説明を求める。

【三浦委員】

- ・資料 1、2に基づき説明。
- ・前回の勉強会でも話をしたが、アンケートは名立区在住の18歳以上の方を対象とすることから、コスト的な面や回収率の向上の面等からアンケートの送付や回収及び事務局への返送について、町内会長にお願いをしたほうが一番効率的ではないかと考える。
- ・そのため、4月の地域協議会でアンケート内容を確定し、4月18日の町内会長会議で町内会長にアンケートの送付等を地域協議会から依頼したいと考えている。
- ・また、4月の地域協議会で担当課との意見交換を行いたいと考えている。

【塚田会長】

- ・「ろばた館の存続に向けて」について自主的審議事項としてよいか、各委員に確認し、承認を得る。
- ・4月18日の町内会長会議で私が趣旨の説明や町内会長へアンケートの送付等の依頼を行いたい。

【奥泉副会長】

- ・区内で4月1日時点の18歳以上の推計人口は何人か。また、4月の地域協議会の

日程を先に決めた方がよい。

【牛木所長】

- ・ 4月18日は町内会長の交代等に伴い、生活環境協議会、町内会長会議、町内会長協議会を予定しているが、事務局としては、町内会長会議では町内会長への委託事務等の説明について時間を要するため、町内会長協議会の場でアンケートの送付等の依頼をしてはどうかと考えている。

【三浦次長】

- ・ 区内の18歳以上の人口は概ね2,200人から2,250人の間になると推測される。

【安藤委員】

- ・ アンケートの内容としてはこれでよいのではないか。

【塚田会長】

- ・ アンケートの内容について、資料のとおりでよいか委員に確認し、承認を得る。

【三浦次長】

- ・ 4月の地域協議会で担当課との意見交換を行いたいとのことであるが、地域協議会の協議を進めていく中では少し早いのではないか。

【三浦委員】

- ・ 早いという指摘はあると思ったが、ろばた館について、地域でこのような状況にあることを少しでも早く担当課に認識してもらい、本気で取り組んでもらわなければならない。
- ・ また、早めに担当課との意見交換をすることにより、冷静な視点も持ちながらアンケートを集計、分析できるのではないかと考える。
- ・ 4月が年度初めで物理的に難しいということであれば、出来るだけ早い段階で意見交換を行いたい。アンケートを集計、分析する6月では遅いと考える。

【牛木所長】

- ・ 以前にも説明させていただいたが、名立区では個別施設計画の策定のために事務所でワーキンググループを立ち上げて、検討している中で担当課とも協議している。
- ・ 今回の地域協議会において、ろばた館の件が自主的審議事項として審議されることについて、担当課である農村振興課に連絡済である。

【三浦次長】

- ・また、アンケートを実施することについても農村振興課には連絡済である。
- ・担当課との意見交換については、4月以外の適当な時期に行いたい。

【塚田会長】

- ・他に意見・質問を求めるもないため、報告事項3 - (1)「平成30年度上越市地域活動支援事業名立区版募集要項について」事務局に説明を求める。

【竹内班長】

- ・資料 3に基づき説明。

【奥泉副会長】

- ・地域活動支援事業について、今のところ何件の相談及び問合せがあるか。

【竹内班長】

- ・今のところ1件である。

【塚田会長】

- ・地域活動支援事業についても4月18日の町内会長協議会で私がPRする予定。
- ・他に意見・質問を求めるもないため、報告事項3 - (2)「名立の子どもを守り育む会の事業評価について」評価委員の1人である原田委員に説明を求める。

【原田委員】

- ・3月14日の名立の子どもを守り育む会の事業評価委員会での事業評価結果について資料 4に基づき説明。

【塚田会長】

- ・委員に意見・質問を求めるもなし。
- ・その他事項について、発言を求める。

【三浦次長】

- ・市営バスの自由乗降について、平成29年度はバス利用者の安全確保や時刻表どおりの円滑な運行などの理由から乗降状況を検証する期間とすることについて、地域協議会や公共交通懇話会、町内会長協議会等で地域の皆さんに説明してきたところである。
- ・これまでに行った職員による乗降聞き取り調査や市営バスのアンケート調査の結果によると幅広い年齢層から自由乗降の要望が多く寄せられた。

- ・これらのことを踏まえ、市営バスの運行業務を受託している業者に意見を聞いたところ、これまでの間に東飛山線の運転経験がかなり積めたことなどから自由乗降について前向きに検討したいとのことであった。
- ・運行業務の受託業者との協議の結果、有料でバス利用している高校生以上の方を対象として、4月から6月までを試行期間として大きな問題がなければ、7月から自由乗降を本格的実施することにしたい。
- ・宝田小の児童や名立中の生徒については防犯面や安全面を考慮し、これまでどおりバス停での乗車を継続していきたい。
- ・バスで通学している名立中の生徒の自由乗降については、ある程度の期間検証し、様子を見たうえで検討していきたい。
- ・自由乗降の方法について、乗る時は道路左側の安全な広い場所で手をあげて運転手に合図をし、降りる時は降りたい場所の約100m手前で運転手に声を出してお知らせすることにした。

**【奥泉副会長】**

- ・通学時の名立中の生徒について有料乗車の方と一緒にいる場合は同じ場所で乗降できるのか。

**【三浦次長】**

- ・バス停での乗降となる。

**【竹内班長】**

- ・中学生は通学時間が決まっており、人数も多いため通学時間帯に自由乗降を実施すると時間通りの運行等に支障を及ぼす可能性があるため、まずは有料でバス利用している高校生以上の方を対象とした。

**【奥泉副会長】**

- ・そうであれば、子供達が勘違いしないようにしっかり周知した方が良い。

**【塚田会長】**

- ・ほかに意見や質問を求めるもなし。
- ・次に4-(1)「地域活動支援事業名立区事例発表」について事務局に説明を求める。

【竹内班長】

- ・町内会長協議会の場で、地域活動支援事業の取組事例の発表について行うかどうかについて委員の皆さんにお諮りしたい。時間は30分程度とのことなので団体数は1、2団体程度と思われる。

【塚田会長】

- ・町内会長の皆さんの意識を高め、地域活動支援事業をPRする良い機会であるのでできれば2団体の事例を発表してもらいたいと考えているがどうか。

【奥泉副会長】

- ・事例発表は町内会長以外の方の参加できるか。

【竹内班長】

- ・参加できる。時間帯についても事前に周知する予定。

【塚田会長】

- ・団体数については2団体程度、発表団体は事務局に一任することについて委員に了承を得る。
- ・ほかに意見・質問を求めるもなし。
- ・次に4 - ( 2 ) 「平成30年度第1回地域協議会の開催予定について」事務局に案の説明を求める。

【竹内班長】

- ・日時：平成30年4月16日(月) 午後6時30分から

【塚田会長】

- ・事務局案でよいか委員に確認し、了解を得る。
- ・ほかに何かあれば発言を求めるもなし。

【奥泉副会長】

- ・会議の閉会を宣言。
- ・挨拶

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121 (内線 223)

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

## 10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。